

大同市報

人口と世帯 (4月30日現在)

世帯数	6,218	世帯
人口 {	男 14,726	人
	女 15,894	人
	計 30,620	人

昭和29年5月5日印刷
昭和29年5月10日發行
(毎月1回10日發行)
發行所 石岡市役所
石岡市大字石岡408番地
電話 (代表) 38番
編集兼 鬼沢賢造
發行所
5月号 (第1巻
第1号)

世論も、協力も
知ることから始まる

市報の発刊に際して

石岡市長 川並 要

ガラス張りの政治ということがいわれますが、たしかに今日の政治というものは國政にせよ、市政にせよ、それは国民全体が、また市民全体が行うものでありますから、すべてがガラス張りであつて、その住民全部が何でも知つていなければならぬわけですから。そして正しい批判をし、よい意見をのべあつてより良い政治にしてゆくということが、明るい國をつくり住みよい石岡市をつくつてゆくことだと信じております。

そこで、石岡の市政をガラス張りにするために、即ち市民の皆様すべてを良く知つていただき、正しい御批判とよい御意見をいただくためにこんどこの石岡市報を發刊することになつたわけですから。

どうかこの市報が市民の皆さんに、愛され、親しまれ、育くまれて、新生石岡市の希望の泉とましますよう心から念願しまして、發刊の御挨拶といたします。

町村合併

石岡市の

昨年十一月縣下のトツプを
切つて高濱町と合併、去る二
月、實際活動に入つた。

第四臨時市議會開かる

く軌道に乗り一應の落着をみたので、第二段の合併対策を推進することとなり、市勢調査委員会において重要な検討を重ねた結果、竹原村、田余村、玉川村、三村、關川村の

石市第四回臨時議会は、四月十六日午後一時開会、左の議案について、審議の結果議案満場一致可決同二時閉じた。

提出案

市報の発刊に對して

石岡市議會議長山口正三

行政自治の團體が「市報」を發行て、自己の姿を赤裸々に市民諸君に看て貰ふことは必要でる。

これを看た人々の中には、それを見てもあるたろう、その意見は憶することなく投書か何か方法で、遠慮なく反映して貰うようにすることもまた必要である。

廣報すなわちPR運動ということ。知つて貰ひ、理解して貰う以外に進んで協力して貰うより深くゆかなければならない。それでは産業道路一たつて、満足にできつ

こないものである。徹底したPR運動。文書以外にあらゆる方法を用いる映画のごときもの、ライのごときものがそれであるが、限ある自治体の財力では最のかかる方法はやはりたくてもできない。

勢い文書を以てこの目的を達しよとするのであるが、元
 来として役所の文章というものは、六、乾燥におちいりや
 すい弊がある。

市民諸君が氣やすく讀んでくれな。報紙では、鼻紙にも劣るものであるが、今度の石岡市報行に際して私は、心からこれを喜ぶと同時に、ねがわ潤のある内容を豊富に盛り上げて、三万の石岡市民諸君目もはなしがたい貴重な讀みものとして、座右に置くもでき上るよう切に祈つて發刊の言葉とする。

昭和29年度當初予算額		(單位千圓)	
市 稅	60.686	議 會 費	4.331
平衡交付金	17.000	役 所 費	28.881
財 產 收 入	142	消 防 費	8.782
分擔金負擔金	827	土 木 費	5.373
使用料手數料	1.313	教 育 費	19.775
國庫支出金	16.099	教 社 會 費 及 勞 働 施 設 費	21.145
縣 支 出 金	705	保 健 衛 生 費	4.934
寄 附 金	1.868	產 業 經 濟 費	4.289
雜 收 入	525	財 產 費	828
市 債	7.680	統 計 調 查 費	177
		選 舉 費	64
		公 債 費	1.939
		諸 支 出 金	5.934
		豫 備 費	200
歲入合計	106.712	歲出合計	106.712

市稅賦課徵收條例の

一部改正する條例

この改正條例は住宅難に對

する一策として新たに住宅を建てようとする者に對し、その住宅もまたは、店舗兼住宅の用に供する目的で一〇〇坪未満の土地及二十坪未満の建築物を取得した場合に固定資産税々額の二分の一を輕減す

防火貯水槽續々完成

市では、さきに村上、谷向田島と次々に貯水槽工事を終了し、この程大砂、半ノ木のコンクリート貯水槽工事をいそいでいたが、三月末完成した。いずれも容量一五〇石。

石岡市工場設置獎勵條例

說

この條例は石岡市がその發展策の一として産業振興をはかるため、新たに工場を設置する者に對し奨勵金を交付しようとするものである。その概要次の通り

△適用の範圍

昭和二十九年四月一日から昭和三十四年三月三十一日までの間に、市長が必要と認める事業で資本金五百万円以上、従業員三十名以上の工場を設置する場合

△奨勵金の額

四月分
出生四八人 死亡一

四月分 出生四八人 死亡一四人

8	1	7	6	5	2	1	期
日	日	日	日	日	日	日	日
橋小入學式	石岡小、高濱小、東太	緑の週間。	府中小、石岡中入學式	高濱中入學式。	各學校始業式▼府中中	獨立公民館落成準備會	級開設。
根當分敬場にて青年學	收入役、諸星主任表彰	さる。	城地方稅務協會會長より	給功勞者として飯俣	業課長表彰さる。▼若	給功勞者として石橋	食糧廳長官より主食配
事	項						

9	16	14	13	12	11	10	9
日	日	日	日	日	日	日	日
視聽覺育部落巡回ナ ト映画會實施▼婦人	村長等々懇談。	三村にて市制調査委員	席▲千葉興邦町企画課 長一行事務視察來廳。	式に議長、齊藤助役列 席▲千葉興邦町企画課 長一行事務視察來廳。	賀式に市長、議長列席 賀式に市長、議長列席 賀式に市長、議長列席	議長一行貯水槽竣工檢 査。公民館落成準備會 (第二回)	總務委員貯水槽新設實 地檢分。結城市制祝賀 式に議長、齊藤助役列 席▲千葉興邦町企画課 長一行事務視察來廳。

17	日	吏員採用試驗實施、應募者十九名、慰靈碑除幕式及慰靈祭、於國分寺境内、教育委員例會行方郡手賀村議、村長一行事務視察來廳。
18	日	市初代消防團長山口正三氏就任式、三重県南牟婁郡南輪内村議一行事務視察來庁。
19	日	民生委員總會、高濱小創立記念日、那珂湊にて商工會議所設置協議會、鬼澤助役出席。
20	日	甲府市にて關東市議長會議、議長出席。
21	日	水戸市にて県下九市長會議、市長出席、根當分教場にて青年學級開設。
22	日	水戸市にて福祉事務所長會議、齋藤助役出席。

日 日 日 日 日 日 日 日
 委員會 予算執行に關する土木
 石岡婦人會總會
 公民館高濱分館巡迴委員
 會議齋藤助役出席
 土浦市にて選管委員長
 教育長會議
 土浦市にて郡市
 太郞氏監査委員に選任
 さる▼土浦市にて郡市
 市會金員協議會▼市第
 四回臨時議會▼福田昌
 高濱中PTA總會
 會
 出席▼高濱小PTA總
 計画打合會議齋藤助役
 水戸市にて新町村建設
 常會議鬼澤助役出席
 水戸市にて公營住宅制
 齋藤課長表彰さる
 より稅務功勞著として
 ▼稅務協會新治支部長

[illegible]

出生の部		町名父の民名		続柄		氏名	
鹿之子	又	登	一	長女	久保田春美	山口由美子	
碓石澤	信	也		長男	鈴木敏	純	
中ノ木	實			長男	石上富士子		
根當	力			長女	山崎充幸		
正上内	岩			長女	山崎恵子		
行里川	廣			長女	秋山恵子		
英				長女	篠崎さち子		
錦	英			次女	野代恭子		
豊	錦			次女	小松崎春枝		
大谷津	出ツ山			長男	平澤勝男		
兵	好			長女	木村ひさ子		
貝地	繁			夫	谷一主		
守	守			長男	長谷川健		
金丸	守			三男	眞家章二		
仲之内	實			長男	富崎博信		
泉町	辰四郎			長女	金井枝美子		
	武太郎			三女	須賀田美佐		
	明			次女	下林美智		
	經			五男	木暮直		
	常			次女	市村敏		
	茂			次女	大森智香		
	恒			長女	渡辺智		
	寧			次女	小貫泰		
	昌			長男	五土凱仁		
	清			次男	落合秀		
	高			次男	松井治		
	定			長男	細内和		
	幸			三男	大山寛		
	三			次女	相澤美江		
	茂			長男	久保田光		
	政			長女	小野淑仁		
	政			次女	葛内惠美		
	好			次女	鈴木純		
	好			長男	鈴木純		
	宮下			町名父の民名	続柄	氏名	

